

Vol.6 発行日 2012年10月31日

社会福祉法人藍

大阪市平野区平野南3-11-35

TEL (06) 6799-1065

有限会社 ひらの

大阪市平野区平野西4-7-28

TEL (06) 6703-1711

発行責任者 保田 八十次

編集 藍サポートネットワーク広報委員会

<http://www.oct.zaq.ne.jp/ainetwork/index.html>

藍サポ通信 ～明日に向かって～

藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。



ひらの 一泊旅行



お詫びと訂正

前回発行分号外に記載されていましたが平野西事業所のFAX番号と社会福祉法人藍第二くれよんの定員に誤記がありましたので訂正させていただきます。

平野西事業所のFAX番号

誤 06-6797-8622 → 正 06-6796-8622

社会福祉法人藍第二くれよんの定員

誤 20名 → 正 10名

ご迷惑をお掛けしました事をお詫び申し上げます。

活動報告 ひらの 岡山・鳥取県一泊旅行。

写真は表紙に掲載

1日目 現代玩具博物館～とっとり花回廊～大山ロイヤルホテル

岡山県の美作までバスで行き、現代玩具博物館にてたくさんのオルゴールの演奏を聞きました。大小様々なオルゴールやかからくりオルゴールの音色を楽しみました。その中でも直径1メートルほどもあるディスクオルゴールの音色やピアノとドラムセットが合わさったからくりオルゴールの迫力は圧巻でみなさん目を丸くして聴き入っている様子でした。

昼食後は、鳥取県にむかいました。とっとり花回廊では園内を一周できるフラワートレインを借り切って全員で乗り、車内から季節の花の観賞をしました。一日目のイベントを楽しみ、一路宿泊先へ。

今回の宿泊先は大山ロイヤルホテルです。大自然に囲まれた山の中にあるホテルで、虫や鳥の音が聞きながら景色を楽しむ事ができ、涼しく快適に過ごす事が出来ました。ホテルでは大浴場での入浴を済ませた後、みなさんが楽しみにしている宴会場での夕食とカラオケ大会。夕食は、魚料理とローストビーフの肉料理が両方付いた洋食のフルコースです。ホテル側のご配慮によりコース料理を利用者さんお一人お一人に合わせて提供していただきました事で、みなさん笑顔で残さず食べておられました。夕食後は、毎回恒例のカラオケ大会が始まり、スタッフとのデュエットもあり大盛り上がりでした。

2日目 水木しげる記念館・水木しげるロード～お菓子のお城

2日目は、今年の旅行のメインでもある「水木しげる記念館および水木しげるロード」の散策でした。水木しげる記念館前では、“ねずみ小僧”との記念撮影もしました。記念館ではゲゲゲの鬼太郎の歴史に触れる事ができるブースや、薄暗い中での少し怖い妖怪紹介ブース、どこか親しみのもてる生活感漂う妖怪の紹介ブースなどを回り、「怖い」「面白い」の両方を楽しむ事の出来る施設でした。水木しげるロードでは、班に別れてのグループ行動で色んなお店をみたり、お土産をたくさん購入したり、写真を撮ったり、アイスクリームを食べたりと自分の好きな事を楽しめました。最後は、お菓子の城に寄ってお土産を購入してゆっくり休憩してから、バスで大阪に帰りました。

最後に去年の1泊旅行よりお世話になっているラッキートラベル様、どのような状況でも親身に相談に乗ってくださり、ツアー内容だけでなく利用者さんの食事から休憩施設までご配慮いただきまして、今年も「みんな」で1泊旅行を無事に楽しむ事が出来ました。利用者・職員一同心よりお礼申し上げます。

記事担当 柳瀬

活動報告 社会福祉法人藍 第二くれよん

社会福祉法人藍第二くれよんが開所され、4か月が経ちました。夏休みも終わり、少しずつ落ち着きつつあります。夏休み中、第二くれよん以外ではプールがありました。ここではハンモックを使って遊んでいます。のんびり1人で乗ったり、時には職員も一緒に2人で乗ることもあります。みんなに人気のハンモックの周りには、いつも順番待ちのお友達でいっぱいです。譲り合いの気持ちや、順番を守る事を学びながら、日々楽しく過ごしています。



また、おもちゃを買うのではなくみんなの手で作っています。ボウリングのピン、魚釣りキット、ボール当ての的などやりたい遊びを考え、自分たちで作りました。出来あがったおもちゃは、設定保育でも使われており、みんなで楽しく遊んでいます。まだまだこれだけしかないおもちゃですが、みんなで相談し増やしていきたいです。

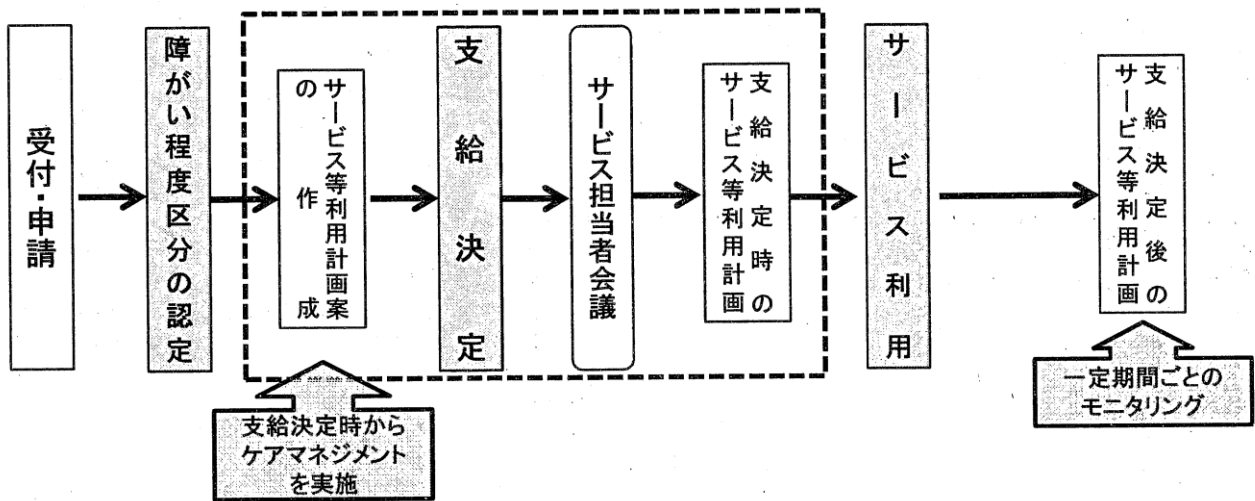
記事担当 新瀬・渡邊

「相談支援事業ひらの」の開始について

平成 24 年 4 月の法改正により、障がい者（児）の相談支援体制が見直されました。これまでは、市町村が本人のサービスの利用意向を聴取した上で支給決定案を作成していましたが、法改正により相談支援事業者がサービス等利用計画案を作成することとなりました。また、相談支援事業者はサービス等利用計画案の作成に加え、支給決定後のサービス担当者会議の開催やサービス利用後の計画の見直し（モニタリング）を実施することとなっています（下図参照）。

相談支援の対象者は、障がい福祉サービス又は地域相談支援を利用するすべての障がい者（児）で、平成 24 年度から段階的に拡大し、平成 26 年度までにすべての対象者についてこのプロセスによる支給決定が実施されることとなります。なお、自ら計画を作成できる方についてはセルフプランの作成が可能となっています。

図 支給決定等のプロセス（平成 24 年度相談支援従事者初任者研修 2 日課程資料集 p7 より）



藍サポートネットワークでは有限会社ひらのにおいて「特定相談支援事業（サービス利用計画作成のための相談支援）」及び「障害児相談支援事業（障がい児が障害児通所支援を利用する際の計画作成）」の指定を、事業者名「相談支援事業ひらの」として 9 月 1 日付けで受けました。サービス等利用計画の作成には、利用者のニーズ把握や心身の状態などのアセスメントが必要となりますが、藍サポートネットワークを利用されている利用者の方々に対しては、既にそれらの状況把握がされておりスムーズな計画作成が可能と考えています。我々の相談支援事業はスタートしたばかりなため、現在は藍サポートネットワークの利用者を中心としてサービス等利用計画の作成を受け付けています。一方、各区には総合的な相談窓口として基幹相談支援センターが地域の相談支援の拠点として設置されており（平野区の場合：平野区障害者相談支援センター・職業リハビリテーションセンター2 階）、このような基幹相談支援センターや市町村とも連携し、今後相談支援事業の質を向上させ、充実させていきたいと考えています。

記事担当：保田真規生

藍サポートネットワーク活動内容

7月・8月 人権虐待研修

藍サポートネットワークでは定期的に人権虐待研修を行っています。前々回ネットワーク全体研修・前回のセルフチェックシートに続き、今回の研修では各事業所に分かれ、他事業所の具体的な虐待の事例をもとにグループディスカッションを行いました。虐待の当事者、周りのスタッフ、社内環境、と様々な角度から「もしも私が」という視点に立ち虐待についてグループで話し合う事で、虐待はなぜ起こりうるのか、虐待を起こさない為にはどのような環境作りが必要であるのかを話し合いました。

その他の活動

9月・10月 請求事務研修／新入社員研修／実践研究発表会（中堅職員研修）

散歩 藍（ホーム友）

ホーム友では体力の維持向上を目指し、それに気分転換をかねて散歩に取り組んでいます。長時間歩くのではなく、ホーム帰宅後短時間ですがホーム友の周辺を歩いてみたり、買い物をかねて一緒に歩いています。途中の公園で休憩したり、その時の利用者さんの気分に合わせて「寄り道」をしています。

初めは少し歩いただけで息が上がっていたり、足が止まる事も有りましたが、今では当初より距離や時間が延びても息が上がる事もなくなってきました。自室の有る6階フロアまで階段で上がる時も、途中で休憩する事無く上がる事が出来ています。



散歩は気分転換にもなるようで、帰宅時にイライラした様子の時もホームの周辺を歩いているうちに落ち着いてくるなど気持ちの切り替えができる様です。お祭りの最中に散歩に行ったときにはだんじりをみつけ、嬉しそうな表情でしばらくその場から離れようとはしなかった事もあり、日常生活の変化にもつながっている様です。

本人から引っぱり張って散歩に行こうと誘ってくれることはまだないのですが、一端歩き始めると援助者の手を取ってリードしてくれるもあります。

まだまだ活動の幅が狭いですが、こういう支援を通して利用者の活動の幅を広げていける様にしていきたいです。

記事担当 米本

ヘルパー日記

こんにちは。地域生活支援センターHIRANOの久堀と申します。

2月に入社してから8カ月がたちました。私は介護の仕事に就くのは初めてで、色々な利用者さんと向き合うなかで、利用者さんから学ぶ事や、感じる事が多いと感じています。居宅介護事業では移動支援や家事援助などあり、移動支援では色々な所にお出かけに行くことがあり、いつもワクワクしています。障がい者スポーツセンターに行くことが多いのですが、ボウリングの時などは利用者さんと一緒になって楽しんでいます。

家事援助などでは、利用者さんと1対1なので、最初の頃はとても緊張してあまり会話ができなかったりしましたが、支援を続けていくうちに自然と会話ができるようになり、仕事が少しずつ楽しくなってきました。

これからも沢山の方との出会いがあるとおもいますが、「今日もこのヘルパーさんに来てもらえてよかったな～」と思ってもらえるようなヘルパーになれたらいいなと思います。

記事担当 久堀

藍サポートネットワークでは随時職員・ボランティアを募集しています。

経験の有無を問わず介護サービスに従事されることを希望される方は下記連絡先までご連絡下さい

社会福祉法人藍 大阪市平野区平野南3-11-35

TEL (06) 6799-1065

有限会社 ひらの 大阪市平野区平野西4-7-28

TEL (06) 6703-1711

メールアドレス：ainetwork@oct.zaq.ne.jp

広報委員会よりお知らせ ホームページについて

ホームページでは藍サポートネットワークの様々な情報提供をしています。

当季刊誌もカラーでご覧いただくことが出来ます。今後は月末の更新を目指し、より新鮮な情報をお届けしていきたいと思っておりますので是非ホームページをご活用下さい。

ホームページ： <http://www.oct.zaq.ne.jp/ainetwork/index.html> または Google「藍サポートネットワーク」で検索